

ねぶた版画

「亀ヶ岡幻想」を寄贈

3月15日、木造出身のねぶた師・竹浪比呂央さん、田村修二さん（市民ネブタ実行委員長）、川嶋大史さん（同実行委事務局）が市役所を訪れ、竹浪さんのねぶたの原画を彫り込んだ板画を寄贈しました。

板画の題材は、昨年の市民ネブタ「亀ヶ岡浪漫」のモチーフにもなった2001年青森ねぶた「亀ヶ岡幻想」。板画は高さ45センチ、幅95センチの木の板に原画を彫り込み、アクリル絵の具で彩色し表面にニスが塗られています。

福島市長は「市役所を訪れた人に板画を見てもらい、東北新幹線新青森駅開業に向けて、つがる市、亀ヶ岡遺跡、ネブタまつりをアピールしたい」と喜んでいました。



ねぶた板画を手にする福島市長と寄贈した右から竹浪さん、川嶋さん、田村さん

思い出つまつた園舎に別れ

柏第一保育所

3月20日、市立柏第一保育所（佐藤修子所長）としては最後の修了式と民営化に伴う移管式が行われました。

柏第一保育所は1964（昭和39）年に開設し、今年度までに1,650人の卒園児たちが巣立ちました。

式では佐藤所長が「入所した頃は、不安で家に帰りたいと泣いていて皆さんが、今では小さい子どもたちの面倒をみてくれる立派なお兄ちゃん、お姉ちゃんになりました。小学校では大変なこともあるでしょうが、一生懸命がんばってください」とあいさつしました。

平成22年4月からは、社会福祉法人・柏友会に引き継がれ、「かしわ保育園」として新たにスタートします。



最後の卒園児となった25人の子どもたち

桜スポット!



つがる地球村（森田町）



銀杏ヶ丘公園（木造）



平滝沼公園（木造）



かっぱ広場（木造）

桜の開花がもう間近。つがる市内にも桜を楽しめるスポットがあります。中でも平滝沼公園やつがる地球村には、数百本もの華やかな桜並木が行楽客を楽しませてくれます。

サイネリア 春の彩り

柏ガラス温室柏ロマン荘の裏では毎年、市立保育所や小中学校の卒業式を彩るサイネリアの花を栽培し、無料で提供しています。今年も3月上旬から淡い紫色やピンク色をした約2,000鉢のサイネリアの花が温室を鮮やかに彩っていました。温室内は温泉水熱を利用したボイラーで室温が15℃、20度に保たれ、年間を通じてさまざまな花が栽培されていることから、市民らの目を楽しませています。

（※時期によって花が見られない場合もあります。電話25・3711）

